

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニューズレター（日本語版）, No.63, February 2007

ARSC 事務局：〒162-0485 東京都新宿区市ヶ谷本村町 2-9

（財）計量計画研究所

応用地域学会事務局 文部科学省学会コード=10023

会長：柏谷増男、 担当：宮本成雄

TEL: (03)3268-9692

FAX: (03)3268-9919

E-mail: clerk@arsc.org

主要項目： 第 20 回研究発表大会報告
2006 年度坂下賞
2007・2008 年度副会長の選挙について
第 21 回研究発表大会のご案内
会員の入退会について
2007 年度会費納入のお願い
総会報告
事務局だより

1. 第 20 回研究発表大会報告

大会委員長：伊藤敏安（広島大学）

2006 年 12 月 9 日（土）、10 日（日）の 2 日間にわたって、広島大学東千田キャンパスにおいて第 20 回研究発表大会が開催されました。発表の受付を開始した当初は出足が鈍く、例年より少ないのではないかと心配しました。しかし、最終的には前年度並みの 55 件のエントリーがありました（うち 1 件は都合により受付後に取り下げ）。

大会は、4 会場、20 のセッションに分かれておこなわれました。そのうち交通や混雑税に関係するセッションが最も多く、5 セッション、14 件を占めました。そのほかに国際、人口、交易、地域経済、地域、産業活動、マーケット、地価、労働市場、地方分権、都市空間、所得格差・移動、地域間競争、立地、土地利用のセッションが開設されました。

若手研究者を対象とした Early Bird セッションは第 1 日目の午前中に開催され、12 件の発表がありました。今回はシンクタンク・セッションを設けず、それぞれの関係セッションに分かれて発表してもらいました。

第1日目の総会開催前に坂下賞受賞記念講演がありました。2005年度の受賞者は曾道智香川大学教授、論題は“Pollution Haven and Industrial Agglomeration” (Laixun Zhao氏との共著)でした。進行ならびに選考経過報告は、選考委員会委員長である藤田昌久京都大学教授にお願いしました。

総会では、事業報告・会計報告などに続いて、2006年度坂下賞の発表がありました。今回の受賞者は城所幸弘政策研究大学院大学助教授です。選考委員会委員長である金本良嗣東京大学教授から、城所氏の研究は、特に都市鉄道等の規制政策に関する分析と交通投資の費用便益分析という政策的含意の大きい分野に寄与したことが評価されたとのご紹介がありました。

第20回大会の参加者は少なくとも174人（うち非会員を含む当日受付は少なくとも10人）でした。会場近くのビルに移動して開催した懇親会には約90人の参加者がありました。懇親会では、柏谷増男会長の開会あいさつ、伊藤の歓迎あいさつに続いて、山田浩之京都大学名誉教授に乾杯の音頭を取っていただきました。中締めは小林潔司副会長にお願いしました。また、次回開催地である鳥取大学の小池淳司助教授からも歓迎する旨のごあいさつをいただきました。

最後になりましたが、ご協力いただきました大会実行委員会とプログラム委員会の方々、座長・討論者の方々に、あらためてお礼申しあげます。また、発表者の一部の方々には日程などのご希望に添えないこともありましたことをお詫び申しあげます。

2. 2006年度坂下賞 (Sakashita Prize)

坂下賞選考委員会 委員長 金本良嗣(東京大学)

2006年度の坂下賞については、選考委員会の慎重なる議論を経、以下のように城所幸弘氏（政策研究大学院大学）に決定しました。

2006年度坂下賞

受賞者： 城所 幸弘（政策研究大学院大学助教授）

受賞理由：

城所幸弘氏は、都市経済、都市交通、費用便益分析、規制の経済学といった広範な分野において、政策的な重要性が大きい研究に取り組んできている。これらの研究成果の多くは、国際一流ジャーナルに掲載されており、質の高い業績である。

城所氏の主要な研究テーマは、都市鉄道等の規制政策と交通投資の費用便益分析の2つである。前者に関する第一の研究では、現実の都市鉄道運賃規制が簿価ベースの校正報酬率規制であったことに着目して、このことが不十分な鉄道投資をもたらして、大都市における極端な混雑現象の一因になったことを理論的に解明した（*Regional Science and Urban Economics* 1998）。規制政策に関する研究の第二の流れは、様々な規制方式がサービス品質に与える影響を分析した一連の研究である（*Journal of the Japanese and International*

Economies 2002, Journal of Transport Economics and Policy, 2003, Transportation Research Part A 2006)。これらの研究では、規制政策の理論的分析にとどまらず、シミュレーションを用いた定量的分析にも及んでいる。

交通投資の費用便益分析に関しては、通常の消費者余剰分析、完全代替を仮定する Wardrop タイプモデル、ロジットモデルの3つの間の関係を分析し、実務で用いられている費用便益分析手法の改善に貢献した研究 (Transportation Research Part B 2006) と、交通ネットワークを明示的に導入したモデルを用いて、価格体系の歪みが存在する場合の便益計測手法を導出した研究 (Journal of Transport Economics and Policy 2004) の2つが代表的なものである。これらの研究は、学問的貢献が高く評価されるのみならず、費用便益分析の実務に大きく貢献することが期待できる。

以上のように、城所幸弘氏は、政策的含意の大きい研究を幅広く進めており、世界的に高く評価されている。また、国際誌に掲載された論文はすべて単著であり、業績の掲載誌も、Regional Science and Urban Economics, Journal of Transport Economics and Policy, Transportation Research, Information Economics and Policy, Journal of the Japanese and International Economies と、多岐にわたっており、多様な研究者に評価されている。これらのことから、2006年度坂下賞の受賞者としてふさわしいと判断される。

2006年度坂下賞選考委員会

坂下賞表彰式は、応用地域学会総会終了後に行われ、城所幸弘氏には、柏谷会長から、表彰状(盾)と金一封が授与されました。

3. 2007・2008年度副会長選挙について

選挙管理委員 上田孝行(東京大学)
浅田義久(日本大学)

下記のように次期副会長選挙が行われます。この副会長選挙の管理委員は、応用地域学会選挙内規Ⅱ第3条に従い、会長指名により、東京大学の**上田孝行**会員と日本大学の**浅田義久**会員が勤めることが決まりました。

応用地域学会会則第7条により、現会長柏谷増男教授(愛媛大学)の任期が2007年3月31日で満了となり、引き続き、現副会長小林潔司教授(京都大学)が会長に就任されます。それに伴いまして、次期副会長の選出を、会則第7条および選挙内規Ⅱに基き実施いたします。運営委員による無記名2名連記の投票の結果、次の3名の方が次期副会長候補者に決定いたしました(アルファベット順、敬称略)。

中村良平(岡山大学) 岡部篤行(東京大学) 田淵隆俊(東京大学)

よって、下記の要領で副会長選挙を行います。

会則第7条および選挙内規Ⅱでは、全会員の無記名单記の投票を定めております。同封のはがきには、上記候補者の氏名があらかじめ印刷されています。次期副会長に適任であると思われる方一名に、○を付してご投函ください。なお、投票の締切は3月25日必着とさせていただきます。会則7条は、副会長の次期会長への自動昇任を規定しております。今回選出される副会長の任期は2007年4月～2009年3月となり、会長としての任期は2009年4月～2011年3月となります。

4. 第21回研究発表大会のご案内

2007年度のARSC研究発表大会は、鳥取大学・小池淳司先生を大会実行委員長として、下記要領にて実施されます。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 程：2007年12月8日（土）、9日（日）

（総会、懇親会は12月8日を予定）

会 場：鳥取県民文化会館

（鳥取市尚徳町101番5 鳥取駅徒歩20分・バス5分、鳥取空港タクシー20分）

発表申込み〆切：2007年8月末（予定）

論文提出〆切：2007年10月末（予定）

お問合せ：ARSC事務局

（発表申込先および受付開始時期を含む詳細については、ARSC NEWS次号（6月発行予定）に掲載いたします。）

5. 中国大会の開催について

12月の総会で紹介されたARSC中国大会は、日中の地域科学の研究交流を目的とし、2006年度は、中国上海華東師範大学で開催されました。2007年度も開催することで進めています。今年度は秋の時期に、北京での開催を予定しています。日程、開催内容等の詳細は確定次第お知らせ致します。

6. 会員の入退会について

2006年度総会（2006年12月9日）において、前回総会以降に入会を申し込まれた以下の方々について、入会が承認されました（順不同・敬称略）。

入会

一般 7 名

山形 与志樹((独)国立環境研究所)、細江 宣裕(政策研究大学院大学)、山口 力(広島修道大学)、宮川 雅至(筑波大学大学院)、今井 健一(近畿大学工業高等専門学校)、山崎 清((株)価値総合研究所)、直井 道生(慶應義塾大学大学院)

学生 13 名

影山 将洋(筑波大学大学院)、金 少勝(筑波大学大学院)、奥村 保規(慶應義塾大学大学院)、今井 重男(筑波大学大学院)、姜 雪梅(東北大学大学院)、西田 喜平次(筑波大学大学院)、渡辺 信康(北九州市立大学大学院)、宮澤 俊治(岐阜大学大学院)、瀬谷 創(筑波大学大学院)、福原 崇之(青山学院大学大学院)、水野 哲昭(大阪大学大学院)、坪田 建明(京都大学大学院)、寺地 祐介(京都大学大学院)

同時に以下の方々の退会が承認されました(敬称略)。

退会

本人の申し出によるもの(14名)

藤岡 明房(敬愛大学)、船本 志乃(東京大学大学院)、川鍋 襄(神戸商科大学)、松田 和美(日本工営株式会社)、宮良 いずみ(大阪大学大学院)、栗原 真行(国土交通省 国土技術政策総合研究所)、和田 崇((有)地域科学研究所)、深津 亜実(学習院大学大学院)、藤田 安男(国際協力銀行)、片谷 教孝(山梨大学)、山田 育穂(Indiana University)、牧村 和彦((財)計量計画研究所)、森地 茂(東京大学大学院)、田中 尚人(岐阜大学)

この結果、2007年1月31日現在の会員数は、個人会員が、一般会員 378 名、学生会員 66 名、海外会員 12 名、賛助会員 13 団体(計 21 口)となります。

7. 2007 年度会費納入のお願い

会員データベースに基づいて発行された請求書を同封しています。ご請求額を3月23日までに応用地域学会の郵便振替口座(00120-1-253855)にお振込み下さい。また、この請求額について疑義のある場合には、学会事務局までお問い合わせ下さい。なお、お振込みの際には、ご面倒でも振替用紙の通信欄に振込金額の明細を必ずご記入下さい。

(1) ARSC 会費

2007 年度会費は、一般会費 10,000 円、学生会員 5,000 円、賛助会員 1 口 50,000 円です。また、海外会員(日本人の短期滞在者を除く)は、ARSC 年報を購読される場合 \$80、RURDS のみの場合 \$60 です。なお、海外からお支払いの場合は、日本国内の知人を経由して日本円でお支払い頂くのが最善ですが、それが不可能であれば、各国の銀行で振り出された US ドル建ての小切手、または国際郵便為替をご利用下さるようお願いいたします。

(2) RSAI (国際地域学会) 会費

RSAIの会員サービス等は、Blackwell社を通じて行われ、ジャーナル“Papers in Regional Science”も、Blackwell Synergy上で閲覧できるようオンライン化されています。

(Papers in Regional Scienceは、印刷冊子としての購読もできます)

会員に対するサービス内容に対応して”会費”には以下の通り、**A、Bの2種類**あります。サービス内容をご確認の上申し込みください。

○ジャーナルの印刷物を郵送で受取るサービスを希望の場合 (A)

一般会員： ¥7,800

学生会員： ¥3,800

<サービス内容>

- ・ジャーナル (PiRS) の郵送による受け取り
- ・Journal of Regional Science などのブラックウェル社の雑誌の購読料割引と関連出版社の詳細情報の提供
- ・新しくなったRSAIホームページへのアクセス
- ・ニューズレターの郵送による受け取り
- ・RSAIの会議への参加費割引
- ・メンバーリストへのアクセス

○ジャーナルや情報への電子アクセスのみを希望の場合 (B)

一般会員： ¥1,600

学生会員： ¥1,200

<サービス内容>

- ・PiRSの電子コピー (Eメールによる受け取り)
- ・Journal of Regional Science などのブラックウェル社の雑誌の購読料割引と関連出版社の詳細情報の提供
- ・新しくなったRSAIホームページへのアクセス
- ・ニューズレターの電子コピー (Eメールによる受け取り)
- ・RSAIの会議への参加費割引
- ・メンバーリストへのアクセス

<会員の入退会・継続、サービス区分の変更の希望>

従来からのRSAI会員の方は、特に退会の申し出のないかぎり会員を継続されると判断します。また、新規に入会を希望される方は、希望するサービス区分を会費払込票の通信欄に記入してください。また、退会、サービス区分の変更等がある場合は、その旨、払込票の通信欄にご記入ください。

(この通信欄の記入をもとにARSC事務局が、RSAI会員サービス提供の手続きを行います。)

<RSAIの会費納入>

希望するサービス内容の金額をARSC会費と合算してお振込みください。払込票通信欄には、送金内訳を記入してください。

8. 総会報告

2006年度の総会は、12月9日（土）広島大学において行われました。概要は以下の通りです。

議題と主な報告、議論等；

1) 学会活動報告及び活動方針

柏谷会長より、2006年度の活動方針を中心とした学会の運営方針が示されました。ホームページの刷新等、特に会員サービスの向上には、今後とも力を入れてゆきたいとお話がありました。

2) 会員異動報告（前掲）

3) 2005年度決算（別掲）

4) 2007年度予算（別掲）

5) 応用地域学会 2006年度坂下賞

坂下賞選考委員会委員長金本良嗣先生(東京大学)より、2006年度の坂下賞についての選考経緯と受賞者の発表がされました。

受賞者には、次年度の研究発表大会において特別講演をしてもらうことなどの報告がありました。

(授賞者 前掲、2006年度選考委員 別掲)

6) ジャーナルの編集状況及び今後の方針について

①応用地域学研究

編集委員長中村良平先生（岡山大学）より編集状況の報告と今後の取り組みが報告されました。

- ・電子ジャーナル化を進め、ホームページからのフリーアクセス等を検討していく
- ・投稿は幅広く募集していく
- ・書評・出版情報の紹介などの掲載内容の充実を図る

②RURDS

RURDS 刊行に関する科研費の増額があったこと、RURDS の電子ジャーナルへのアクセスが、極めて多くなっていること、また最近日本の若手の投稿者並びに採択が増えており、一層の若手の活躍・投稿を歓迎する旨の土井編集委員長からのメッセージが紹介されました。

8) 2007年度研究発表大会の開催について

(前掲)

なお、年次大会とは別に、日中の地域学の交流のために、2006年度の中国大会同様に、2007年秋を目標に中国北京での大会開催を進めていくことが報告されました。

(前掲)

9. 事務局だより

- **第 20 回 ARSC 研究発表大会**は、広島大学東千田キャンパスで開催され、大変な活況を呈しておりました。今大会の委員長を勤められ自ら陣頭指揮を取られた伊藤敏安先生の大変なご尽力をはじめ、広島大学の皆様、プログラム委員長を勤められた戸田常一先生（広島大学）とプログラム委員の先生方のご苦勞に対し、また様々な側面でご協力いただきました皆様に、深く感謝申し上げます。
- **副会長の選挙**です。2007 年度からの副会長、そして 2009 年度からの ARSC 会長となる方を選出する大切な選挙です。年度末を控え、そして新年度への準備と、何かとご多忙の折かと思いますが、お忘れなきようお願い申し上げます。
- 会員皆様にご協力をいただき、会員相互の交流のための名簿作成を進めておりますが、個人情報としての名簿の管理には、細心厳密な対応をしていきたいと思っております。
- 地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人、または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。個人会員用の入会申込書は ARSC のホームページ(<http://www.arsc.org/arscform-j.html>)より入手可能です。また、Email によるお申し込みも受け付けておりますので、記入事項を ARSC ホームページにてご確認の上、必要事項を記入して clerk@arsc.org 宛てに Email でお申し込み下さい。
(ARSC 事務局 宮本成雄)

2005年度決算書

応用地域学会2005年度決算書（2006年3月31日）


収入の部	2005年度予算		2005年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.繰越金	9,023,877	0.00	9,023,877	0.00
2.個人会費収入	4,275,000	1,800.00	3,549,101	0.00
3. RSAI会費	778,800	0.00	272,600	0.00
4.賛助会費収入	1,250,000	0.00	850,000	0.00
5.補助金(科学研究費補助)	1,500,000	0.00	1,600,000	0.00
6.大会参加費収入	540,000	0.00	641,000	0.00
7.大会開催寄付金	0	0.00	0	0.00
8.利子収入	0	0.00	57	0.00
9.雑誌販売(Back Number)	0	0.00	67,680	0.00
10.その他	0	0.00	0	0.00
収入合計	17,367,677	1,800.00	16,004,315	0.00
(繰越金を除く収入合計)	8,343,800		6,980,438	

支出の部	2005年度予算		2005年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.RURDS刊行費	4,560,000	0.00	4,334,000	0.00
(編集印刷経費)	1,500,000	0.00	1,600,000	0.00
(刊行・発送費)	3,060,000	0.00	2,734,000	0.00
2.年報刊行費	1,000,000	0.00	511,973	0.00
3.大会開催費	650,000	0.00	960,868	0.00
4. RSAIへの送金	778,800	0.00	147,614	0.00
5.坂下賞	121,000	0.00	121,367	0.00
6.名簿印刷費	170,000	0.00	0	0.00
7. ニュースレター等印刷費	200,000	0.00	88,725	0.00
8.一般事務費	310,000	0.00	189,350	0.00
(郵送費)	250,000	0.00	129,490	0.00
(消耗品等)	10,000	0.00	31,920	0.00
(謝金等)	0	0.00	18,000	0.00
(銀行手数料)	50,000	0.00	9,940	0.00
9.事務局費	500,000	0.00	500,000	0.00
10.予備費	50,000	0.00	0	0.00
支出合計	8,339,800	0.00	6,853,897	0.00
繰越金	9,027,877	1,800.00	9,150,418	0.00
ドル貨円換算(手数料を除く)	123,000			
繰越金合計	9,150,877		9,150,418	

注: 2001年度よりドル口座を廃止。海外会員の会費は、円に換金して円口座に入金。

監査の結果、決算は適正になされていることを認めます。

2006年 / 2月 4日 監査委員 岡本亮介 

2006年 / 11月 25日 監査委員 山村能郎 

2007年度予算書

応用地域学会2007年度予算書

収入の部	2005年度決算		2006年度予算		2007年度予算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.繰越金	9,023,877	0.00	9,150,418	0.00	8,657,418	0.00
2.個人会費収入	3,549,101	0.00	4,375,000	1,800.00	4,400,000	1,800.00
3. RSAI会費	272,600	0.00	245,180	0.00	270,940	0.00
4.賛助会費収入	850,000	0.00	1,200,000	0.00	1,200,000	0.00
5.補助金(科学研究費補助)	1,600,000	0.00	1,600,000	0.00	1,800,000	0.00
6.大会参加費収入	641,000	0.00	30,000	0.00	60,000	0.00
7.大会開催寄付金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
8.利子収入	57	0.00	0	0.00	0	0.00
9.雑誌販売(Back Number)	67,680	0.00	0	0.00	0	0.00
10.その他	0	0.00	0	0.00	0	0.00
収入合計	16,004,315	0.00	16,600,598	1,800	16,388,358	1,800.00
(繰越金を除く収入合計)	6,980,438		7,450,180		7,730,940	
(ドル貨を含む)			7,573,180		7,853,940	

支出の部	2005年度決算		2006年度予算		2007年度予算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.RURDS刊行費	4,334,000	0.00	4,720,000	0.00	4,800,000	0.00
(編集印刷経費)	1,600,000	0.00	1,600,000	0.00	1,800,000	0.00
(刊行・発送費)	2,734,000	0.00	3,120,000	0.00	3,000,000	0.00
2.年報刊行費	511,973	0.00	1,000,000	0.00	1,000,000	0.00
3.大会開催費	960,868	0.00	650,000	0.00	650,000	0.00
4. RSAIへの送金	147,614	0.00	245,180	0.00	270,940	0.00
5.坂下賞	121,367	0.00	121,000	0.00	121,000	0.00
6.名簿印刷費	0	0.00	170,000	0.00	50,000	0.00
7. ニュースレター等印刷費	88,725	0.00	200,000	0.00	100,000	0.00
8.一般事務費	189,350	0.00	310,000	0.00	200,000	0.00
(郵送費)	129,490	0.00	250,000	0.00	150,000	0.00
(消耗品等)	31,920	0.00	10,000	0.00	30,000	0.00
(謝金等)	18,000	0.00	0	0.00	0	0.00
(銀行手数料)	9,940	0.00	50,000	0.00	20,000	0.00
9.事務局費	500,000	0.00	600,000	0.00	600,000	0.00
10.予備費	0	0.00	50,000	0.00	50,000	0.00
支出合計	6,853,897	0.00	8,066,180	0.00	7,841,940	0.00
繰越金	9,150,418	0.00	8,534,418	1,800.00	8,546,418	1,800.00
ドル貨円換算(手数料を除く)			123,000		123,000	
繰越金合計	9,150,418		8,657,418		8,669,418	

注1; 2001年度よりドル口座を廃止。海外会員の会費納入は、すべて円に換金して円口座に入金。

注2; 2006年度予算のうち、RSAI会費は、変更(会員サービスの変更のためペンディングであった。)

2006年度坂下賞選考委員会

委員長	金本 良嗣	(東京大学)
委員	佐々木公明	(東北大学)
委員	岡部 篤行	(東京大学)
委員	柏谷 増男	(愛媛大学 ARSC 会長)
委員	小林 潔司	(京都大学 ARSC 副会長)

2004年から2007年の間の選考委員の任期についての申し合わせ

2004年の運営委員会で3名（藤田昌久氏、佐々木公明氏、金本良嗣氏）の選考委員が選ばれた。第6条に定めた、委員任期3年、1年にひとりずつ新任および退任の規則に合致させること、に整合させるために、

2005年は、上記3名が継続、

2006年は、藤田昌久氏が退任して、2006年度運営委員会選出委員が新任、

2007年は、金本良嗣氏が退任して、2007年度運営委員会選出委員が新任、

2008年は、佐々木公明氏が退任して、2008年度運営委員会選出委員が新任する。